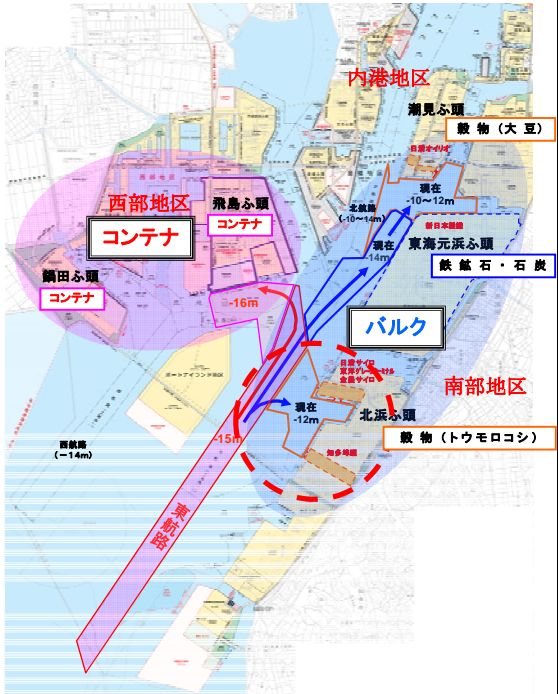
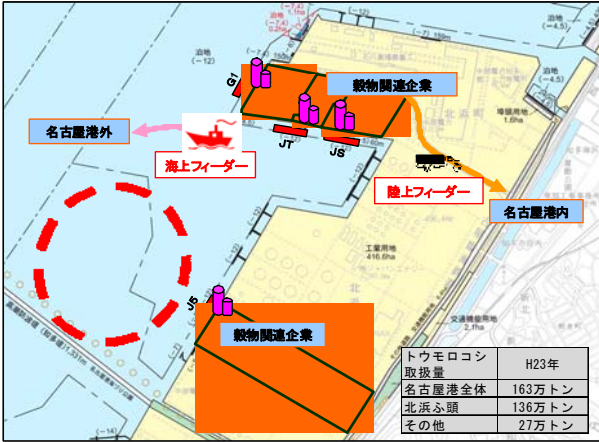


2. 北浜ふ頭検討経緯について

年月	事柄	内容
平成22年6月	国際バルク戦略港湾公募	国土交通省は、我が国の産業及び国民生活に欠かせない物資である資源、エネルギー、食糧等の国際バルク貨物の世界的な獲得競争が進展している中、大型船舶による一括大量輸送を可能とする港湾の「選択」と「集中」により、これら物資の安定的かつ安価な輸送を実現するため、国際バルク戦略港湾を公募した。
平成23年5月	国際バルク戦略港湾の選定	<p>名古屋港は対象ユーザーである穀物関連企業との協議を踏まえ、穀物関連企業が集積している北浜ふ頭において、穀物関連機能の更なる拠点化・高質化による競争力強化に向けて新食糧コンビナートの形成を目指すため、国際バルク戦略港湾に応募し選定を受けた。</p> <p><地点選定></p> <p>名古屋港の西部地区にはコンテナ取扱施設、内港地区には都市に隣接したウォーターフロント空間、南部地区にはバルク取扱施設が集積しており、特に北浜ふ頭においては、穀物を輸入・保管・加工・配送する穀物関連企業が多く立地しており、名古屋港を利用して輸入される穀物のほとんどが北浜ふ頭で扱われている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 既存の穀物関連機能との相乗効果により、最も効率的な運用の確立が可能 ・ 近隣港湾に立地している穀物を利用する関連機能と船舶輸送を活用した更なる有機的な連携 ・ 穀物関連製品や副産物の全国への配送拠点としての機能拡大による物流・生産活動の効率化への貢献 ・ 埋立地による高潮防波堤の更なる防災機能強化



埋立予定地を北浜ふ頭地先に選定